

株式会社ヒューマンテクノシステム

自分の声ソフトウェア ボイスター

“あの声でなくてはならない”…そんな思いに応えます。

概要

ボイスターは、個人の声を合成できる高品質な「個人音声合成ソフトウェア」です。その人の声を持つニュアンスや雰囲気等、「その人らしさ」を再現します。これまで、喉頭がんや咽頭がん、もしくはALS等の神経難病などで本来の声を失われる方を中心に、「第二の自分の声」として提供してきました。

特徴

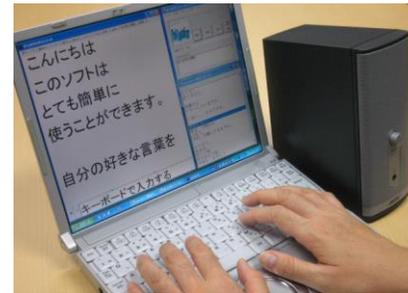
- 病気や手術で声を失う方のために、弊社スタッフがご自宅まで収録に伺い、お客様専用の音声合成ソフトを構築します。本来の声を失った後でも、ボイスターを通して自分の声でのコミュニケーションを可能にします。
- ボイスターはWindows上で動作します。意思伝達装置との連携やiOSアプリ(開発中)としての動作も可能です。
- ATR音声言語コミュニケーション研究所の「波形素片接続型音声合成システム XIMERA」により、肉声感の高い音声を実現します。

今後の展開

- より広範囲に渡る発話障害の症状に対応することで、多くの声を失う方への提供を可能にします。具体的には、障害音声を明瞭化する技術の開発、医療・リハビリ・介護現場の方が高品質に収録を行えるシステムの構築、を進めています。

テーマ(科学技術が描く明るい未来社会~大阪・関西万博に向けて~)への関連

- 病気や手術で自分本来の声を失うことは、その後の人生に対する不安を感じさせ、後向きになったり、命を縮める選択をすることさえあります。ボイスターはそのような方が前向きになれるような、心を支える存在でありたいと考えています。



大学での講義



自分の声ソフト (スマホ版) の 利用イメージ

視線入力でラジオ番組に出演

